

第4期 奈良県がん対策推進計画 概要

【計画の位置づけ】 がん対策基本法第12条に規定する都道府県がん対策推進計画
奈良県がん対策推進条例第2条に示すがん対策推進計画
「奈良県保健医療計画」「なら健康長寿基本計画」と整合す計画

【計画期間】 令和6年度から令和11年度までの6年間
【策定の趣旨】 第4期がん対策推進基本計画の考えに基づきつつ、第3期奈良県がん対策推進計画の現状と課題から必要な取組を明らかにし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図る

基本理念 **がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県**

全体目標

- 1 県民ががんにならない、がんで亡くならない（がんで亡くならない県、日本一）
- 2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる
- 3 すべての県民ががんを正しく知り、がんに向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

分野別施策

がん予防

めざす姿：がん罹患率が減少している
がんに関する正しい知識を持っている

- ・たばこ対策の充実
- ・健康的な生活習慣の普及
- ・感染症予防の充実

がん医療の充実

めざす姿：がん患者が安全かつ安心な質の高い医療を受けられる
がん患者が納得した治療を選択できている

- ・がん医療提供体制の充実・がん医療の質の向上（小児・AYA世代や高齢者等のがん医療の連携促進）
- ・患者目線でのがん診療情報の提供

相談支援及び情報提供

めざす姿：がん患者の不安や悩みが相談支援により軽減されている

- ・相談支援機能の強化（小児・AYA世代、高齢者）
- ・患者目線での情報提供の充実

がんの早期発見

めざす姿：がんが早期の段階で発見されている
がんが早期の段階で診断されている

- ・がん検診の受診促進
- ・がん検診精度管理の充実

がんと診断された時からの緩和ケア

めざす姿：がん患者の身体的、精神的、社会的苦痛が軽減されている

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供

がん患者等の社会的な問題への対策

めざす姿：がん患者の抱える社会的苦痛が軽減されている

- ・がん患者の治療と仕事や学業の両立支援体制の整備
- ・その他ライフステージに応じた社会的な問題（アビランスケア・妊孕性温存療法等）への支援

地域連携

めざす姿：がん患者が居住する地域にかかわらず質の高い医療を受け、望む場所で療養生活を送ることができる

- ・拠点病院等・支援病院の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実
- ・在宅療養生活に関する情報提供

これらを支える基盤整備

がん登録

めざす姿：がん登録データの精度が向上し、データが有効活用されている
地域でがん登録データが活用しやすい体制が整備されている
がん登録に基づいた適切な情報を得ることができている

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

がん教育・知識の普及啓発

めざす姿：がんに関する知識が向上する

- ・中学校・高等学校におけるがん教育の充実・推進
- ・小学校（高学年）におけるがん教育の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進